

評価基準

教 科	道 徳	学 年	6学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
道徳で学習すること 道徳ではこんな学び方をするよ 道徳の学習をもっと広げよう	1	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることをとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているかどうかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	*自分自身を見つめ、自分の考えとは違う意見を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
1 負けずぎらいの心根をもって ——藤井 聡太—— 「自分の長所をのばす」 【A 個性の伸長】	1	将棋に取り組む藤井聡太さんの姿勢について話し合うことをとおして、長所とそれを伸ばしていく大切さに気づき、自分の特徴を知って長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。	長所とそれを伸ばしていくことの大切さに気づき、短所を改めながら長所を伸ばしていくことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	長所を知り、それを今後どのように伸ばしていくかについて、自分との関わりで考えることができるか。
2 ブランコ乗りとピエロ 「広い心をもって」 【B 相互理解、寛容】	1	ピエロの気持ちの変化について話し合うことをとおして、異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さに気づき、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を育てる。	異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さに気づき、広い心をもって接するにはどうすればいいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	異なる意見をもつ相手に対して互いに理解し合い、広い心で接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
3 だまって借りてもいいのかな 「責任ある行動をする」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	他の人の物を黙って借りることについて話し合うことをとおして、自律的に判断し、責任をもって行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	他の人の物を黙って借りることについてどうすればいいかを自律的に判断し、責任をもって行動することの大切さに気づき、責任のある行動をとることについて、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。	何かを借りたいときに、責任のある行動をとることについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教 科	道 徳	学 年	6学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
4 人生を変えるのは自分 —— 秦 由加子 —— 「夢の実現に向けて」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	つらいトレーニングに耐えながら、東京パラリンピックを目指す秦由加子選手の生き方について話し合うことをとおして、高い目標を立て、困難があっても挫けずに努力しようとする心情を育てる。	高い目標を立て、挫けずに努力しようとする ことの大切さに気づき、自らの夢に向かって 前向きに生きることのすばらしさについて、 多面的・多角的に考えることができるか。	夢や希望の実現に向けて目標を設定し、その 達成を目指すことの大切さについて、自分と の関わりで考えることができるか。
5 応援団の旗 「集団の中で役割を果たす」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	「ぼく」の気持ちや行動の変化について話し合うことをとおして、学校の中で果たす役割の大切さに気づき、みんなで協力し合ってよりよい学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	自分にできることは何かを理解し、その役割 をしっかりと果たすために必要なことにつ いて、多面的・多角的に考えることができ ているか。	役割を自覚し、集団生活の充実のために責任 を果たすことについて、自分との関わりで考 えることができるか。
6 友達だからこそ 「友情を深める」 【B 友情、信頼】	1	友美さんと今日子さんの考え方の違いについて話し合うことをとおして、友達と互いに信頼し学び合って友情を深めることの大切さに気づき、よりよい人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	友達と互いに信頼し学び合って友情を深め ることの大切さに気づき、よりよい人間関係 を築くことについて、多面的・多角的に考 えることができるか。	仲のよい友達でも、まちがいはしっかり正し ながら学び合ってよりよい人間関係を築く ことについて、自分との関わりで考えるこ とができるか。
7 ひきょうだよ 「正義の実現のために」 【C 公正、公平、社会正義】	1	たかひろさんの言葉に対して「ぼく」が感じたことについて話し合うことをとおして、いじめを傍観することのひきょうさに気づき、差別したり偏見をもったりせず人間関係を築こうとする判断力を育てる。	いじめを傍観するひきょうさに気づき、誰に 対しても公正・公平な態度で接することの大 切さについて、多面的・多角的に考えるこ とができるか。	誰に対しても公正・公平な態度で接して正義 の実現に努めることについて、自分との関わ りで考えることができるか。
8 父の言葉 「相手を思いやる」 【B 親切、思いやり】	1	父の言葉を思い出して、今「私」が気がついたことについて話し合うことをとおして、思いやりをもって接することの大切さに気づき、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。	思いやりをもって接することの大切さに気 づき、他人に対する親切で思いやりのある接 し方について、多面的・多角的に考えるこ とができるか。	他人に対し親切で思いやりをもって接する ことの大切さを理解し、自分との関わりで考 えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
9 米百俵 「国や郷土を愛する心」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	地域の未来を考えてあえて苦しい道を進もうとした虎三郎の思いについて話し合うことをとおして、先人の努力を知り、わが国や郷土の伝統と文化を尊重し、国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。	国や郷土の伝統と文化を尊重することの大切さに気づき、郷土の発展に尽くした人物の生き方から、郷土を思う心のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。	郷土の一員であることを自覚し、発展させていこうすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
10 個人の権利って？ 「権利を守る大切さ」 【C 規則の尊重】	1	法やきまりの意義について話し合うことをとおして、すすんでそれらを守り、自他の権利を大切にしながら情報と関わろうとする実践意欲と態度を育てる。	法やきまりの意義について理解を深め、自他の権利を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	これまでの行動を振り返り、法やきまりを守ることを大切に、自他の権利を大切にしながら情報と関わることにについて、自分との関わりで考えることができるか。
11 真琴と勇介 「友達と助け合って」 【B 友情、信頼】	1	真琴と勇介の交流について考えることをとおして、異性の間であっても信頼し、学び合うことの大切さについて考えを深め、よりよい人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	異性間であっても、互いに信頼し学び合うことによって友情・信頼を深めることの大切さに気づき、よりよい人間関係を築くことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	異性間であっても、友達と互いに信頼し学び合って友情を深め、よりよい人間関係を築こうすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
12 雨上がりの朝に 「家族の一員として」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	「ぼく」が家族のことを思う心について話し合うことをとおして、家族の中での自分の立場や役割を自覚し、感謝の思いをこめて、家族や家庭生活を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	家族の中での自分の立場や役割を自覚し、感謝の思いをこめて、家族の幸せのためにすすんで役に立つことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	家族の幸せを求めて、家族や家庭生活を大切にしようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
13 山中伸弥先生の快挙 「探究心をもって」 【A 真理の探究】	1	山中伸弥先生が研究をなし遂げることができた理由について話し合うことをとおして、物事を探究するために大切な考え方に気づき、真理を探究しようとする実践意欲と態度を育てる。	物事を探究するために大切な考え方に気づき、真理を探究し続けることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	物事を探究する心をもち続けることの意義を理解し、真理を探究する大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教 科	道 徳	学 年	6学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
14 青い海を取りもどせ 「すすんで社会の役に立つ」 【C 勤労、公共の精神】	1	大船渡の海のがれき撤去作業を行う佐藤寛志さんの思いについて話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、すすんで公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	働くことの意義に気づき、すすんで公共のために役に立とうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	勤労、公共の精神の意義について理解し、公共のために役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
15 「ちょっと」の可能性 「自然環境を守るためにできること」 【D 自然愛護】	1	プラスチックごみの問題について話し合うことをとおして、自然環境を守っていくことの大切さに気づき、自然環境を保護していくとする実践意欲と態度を育てる。	自然環境を守ることの大切さを理解し、自然環境保全に向けて自分たちにできることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	人間の活動と自然との関係を考え、自然環境保全に取り組むことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
16 手品師 「誠実に生きる」 【A 正直、誠実】	1	手品師が男の子との約束を果たそうとした思いについて話し合うことをとおして、自分の良心に従って生きることの大切さに気づき、誠実に明るい心で生きようとする心情を育てる。	どんなときでも自分の良心に従って生きることの大切さに気づき、誠実に生きることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	どんなときでも誠実に生きていくことの大切さを理解し、明るく前向きな気持ちで生活していくことについて、自分との関わりで考えることができるか。
17 協力するってどういうこと？ 「みんなで協力し合う」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	希実子と和也のやりとりを体験的に学ぶことをとおして、クラスの中で果たす役割の大切さに気づき、みんなで協力し合ってよりよい学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	自分の役割を理解し、それぞれが協力し合って行動することの大切さについて、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。	自分の役割を自覚し、集団生活の充実のためにそれぞれが責任を果たすことについて、自分との関わりで考えることができるか。
18 ○○しながら 「行動を見直して生活を改善する」 【A 節度、節制】	1	登場人物のスマートフォンの使い方について考えることをとおして、自分自身の生活態度を見直し、節度ある生活を過ごそうとする実践態度と態度を育てる。	節度をもった行動の大切さに気づき、自分の行動が周りの人にも影響が及ぶことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	節度をもって行動することの大切さを理解し、すすんで自分の生活を見直すとともに、改善すべき点について、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教 科	道 徳	学 年	6学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
19 礼儀作法と茶道 「相手への真心をもって」 【B 礼儀】	1	茶道が礼儀作法を大切にしている理由について話し合うことをとおして、礼儀作法にこめられた相手を大切に思う気持ちに気づき、真心をもって人と接しようとする実践意欲を育てる。	礼儀作法の形を重んじる理由に気づき、相手の立場を尊重するという礼儀作法の意義について、多面的・多角的に考えることができるか。	日常生活での礼儀作法の時と場に応じた接し方の大切さを理解し、真心をもって人と接することについて、自分との関わりで考えることができるか。
20 みんなが幸せに暮らせる社会へ 「差別のない社会に」 【C 公正、公平、社会正義】	1	差別が存在している実態について話し合うことをとおして、互いの人権を認め合うことの大切さに気づき、みんなが幸せに暮らせる社会を築いていこうとする判断力を育てる。	さまざまな差別の実態に気づき、互いの人権を認め合うことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。	互いの人権を認め合うことの大切さを理解し、みんなが幸せに暮らせる社会を築いていこうすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
21 六千人の命のビザ ——杉原 千畝—— 「気高い心をもって」 【D よりよく生きる喜び】	1	杉原千畝がユダヤ人たちにビザを出す決断をしたときの思いについて話し合うことをとおして、人間の強さや気高さに気づき、よりよく生きようとする心情を育てる。	困難な状況でも強さや気高さをもち、大切さに気づき、よりよく生きようすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
22 ひたすらに、自分の心に従って ——棟方 志功—— 「感謝の気持ちをもって」 【B 感謝】	1	周りの人への感謝の思いを胸に、自分の道をひたすらに進んだ棟方志功の生き方を支えた思いについて話し合うことをとおして、日々の生活が、家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝するとともに、周りの人の思いに応えようとする実践意欲と態度を育てる。	日々の生活が、家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、周りの人の思いについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分を支えてくれる人への感謝を表すために、自分なりの具体的な目標をもち、実際の生活で周りの人の思いに応えようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
23 うばわれた自由 「本当の『自由』とは」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	ジェラルール王子に必要な考え方について話し合うことをとおして、自由と自分勝手の違いについての考えを深め、自律的で責任のある行動をすすんでしようとする判断力を育てる。	自由と自分勝手の違いに気づき、自律的で責任のある行動について、多面的・多角的に考えることができるか。	自由と自分勝手の違いを理解し、すすんで自律的で責任のある行動をしようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教 科	道 徳	学 年	6学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
24 あかはなそえじ 「かけがえのない命」 【D 生命の尊さ】	1	副島先生と子どもたちとの関わりをとおして、生を全うする大切さや命の継続性について考え、命を大切にしようとする心情を育てる。	生を全うする大切さについて考えを深め、かけがえのない命を大切にすることの意義について、多面的・多角的に考えることができるか。	生命はさまざまな人々とのつながりの中で支えられ、継続していることを理解し、生命を尊重しようとするということについて、自分との関わりで考えることができるか。
25 地球、その大いなる存在 「感動する美しさ」 【D 感動、畏敬の念】	1	宇宙の中での地球の存在について話し合うことをとおして、美しいものや気高いものに感動する心に気づき、感動したり、畏敬の念をもったりすることを大切にしようとする心情を育てる。	美しいものや気高いものに感動する心に気づき、大いなるものに畏敬の念をもつことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。	美しいものや崇高なものに感動する心を理解し、人間の力を超えたものに対する畏敬の念について、自分との関わりで考えることができるか。
26 究極の理想「平和」を求めて ——新渡戸 稲造—— 「世界の平和を願って」 【C 国際理解、国際親善】	1	国際平和のために努力した新渡戸稲造の生き方について話し合うことをとおして、国を思う心をもって世界で活躍する姿に共感するとともに、日本の文化や伝統に誇りをもって伝えようとする心情を育てる。	他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。	国際理解や国際親善のために、国を思う心をもって世界で活躍することについて、自分との関わりで考えることができるか。
27 その思いを受けついで 「命のつながり」 【D 生命の尊さ】	1	じいちゃんがのし袋を用意した理由について話し合うことをとおして、さまざまな人々とのつながりの中で命が支えられていることへの考えを深め、限りある命を大切にしようとする心情を育てる。	命はさまざまな人々とつながり合っていることに気づき、限りある命を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	生命はかけがえのない尊いものであることを理解し、家族や仲間とのつながりの中で支えられている生命を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
28 両親からの手紙 「大切な家族への思い」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	家族の自分に対する思いや願いを話し合う活動をとおして、家族の深い愛情を改めて理解し、家族の一員としてすすんで家族の役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	自分に対する家族の思いに気づき、家族の一員としてすすんで家族の役に立とうとするということについて、多面的・多角的に考えることができるか。	家族の深い愛情を改めて理解し、家族のために役に立とうとするということについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教 科	道 徳	学 年	6学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
29 卒業に向けて 「支えてくれた人たちへの感謝」 【B 感謝】	1	自分たちの学校生活を支えてくれた人たちへの思いや、「ありがとう」の詩の中で心に響いたことについて話し合うことをとおして、日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気づき、支えてくれている人たちに感謝するとともに、その思いに応えようとする実践意欲と態度を育てる。	日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気づき、支えてくれている人たちに感謝することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることを理解し、支えてくれている人たちに感謝するとともに、その思いに応えようとするについて、自分との関わりで考えることができるか。
30 そこにぼくはいた 「たがいに信頼し合って」 【B 友情、信頼】	1	「ぼく」がああちゃんに対して抱いている気持ちの変化について考えることをとおして、友達と互いに信頼し合うことが本当の「友情」につながることに気づき、よりよい人間関係を築いていこうとする実践意欲と態度を育てる。	友達と互いに信頼し合うことが本当の「友情」につながることに気づき、よりよい人間関係を築いていこうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	友達と互いに信頼し合うことの大切さを理解し、友情を深め、よりよい人間関係を築いていこうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
31 世の中のためになることをしたい ——石橋 正二郎—— 「強い意志で努力を続ける」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	石橋正二郎がなぜタイヤ作りに挑戦し続けることができたのか話し合うことをとおして、困難があっても挫けずに努力するために何が大切かについての考えを深め、夢や希望をもちながら高い目標に向けて努力しようとする心情を育てる。	困難があっても挫けずに努力することの大切さに気づき、夢や希望をもちながら高い目標に向けて努力し続けることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	困難があっても挫けずに努力することの大切さを理解し、夢や希望をもちながら高い目標に向けて努力しようとするについて、自分との関わりで考えることができるか。
32 北海道の名づけ親 ——松浦 武四郎—— 「伝統や文化をつなぐ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	松浦武四郎が「北海道」の名前にこめた思いについて話し合うことをとおして、郷土の文化を尊重することの大切さについて考え、わが国や郷土の伝統を大切にしようとする心情を育てる。	国や郷土の伝統と文化を尊重することの大切さや先人の努力に気づき、国や郷土の伝統と文化を愛する心をもつことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	国や郷土の伝統と文化の大切さや先人の努力を引き継ぐことの意義を理解し、国や郷土の伝統と文化を愛する心をもつことについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教 科	道 徳	学 年	6学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
33 ベトナムの人に安全な水を 「他国の人たちのために」 【C 国際理解、国際親善】	1	ベトナムの水道から安全な水が出るようにするための横浜市水道局の取り組みについて話し合うことをとおして、国際交流では何が本当に相手の国のためになるか考えることが大切であることを理解し、すすんで国際親善に努めようとする態度を育てる。	相手の国の立場に立って国際交流を行うことの大切さに気づき、どのように他国の人々と関わっていくかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	相手の国の立場に立って国際交流を行うことの大切さを理解し、すすんで国際親善に努めようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
34 流水とアザラシが伝えるもの 「地球環境を守るには」 【D 自然愛護】	1	地球温暖化の問題について話し合うことをとおして、地球環境を守っていくことの大切さに気づき、積極的に環境を保護していこうとする実践意欲と態度を育てる。	地球環境を守るものの大切さに気づき、環境保護に向けて自分たちにできることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	人間の活動と自然との関係を踏まえ、積極的に環境を保護していこうすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
35 志を得ざれば、再びこの地を踏まず ——野口 英世と母—— 「人の強さと気高さ」 【D よりよく生きる喜び】	1	野口英世の医者を目指したときの思いや母シカの英世を思う心について話し合うことをとおして、自分の弱さを乗り越え、人間の強さや気高さをもつことの大切さに気づき、よりよく生きようとする心情を育てる。	人間の強さや気高さに気づき、よりよく生きようすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分の弱さを乗り越え、強さや気高さをもつことの大切さを理解し、よりよく生きようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
学習をふり返ろう	1	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分のを捉えさせる。	心に残った話（教材）とそれを選んだ理由、一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。	